

群馬工業高等専門学校

令和4年度卒業式・修了式式辞

ただ今、群馬高専の卒業証書を授与された本科生 159 名の卒業生の皆さん、修了証書を授与された専攻科生 39 名の修了生の皆さん、卒業、修了おめでとうございます。教職員を代表して心からお喜び申し上げます。

卒業証書・修了証書を手にした今、きっと皆さんは、この群馬高専で過ごした日々を思い出していることでしょう。

期待に胸を膨らませて臨んだ入学式、授業や実習・演習、工華祭や体育祭といった学校行事、部活動やインターンシップ、各種コンテスト、就職や進学などの活動、そして卒業研究・特別研究。こうした様々な活動に参加し、その中で多くの友人に巡り会い、教職員、そして企業や地域の方々と出会う機会を得てきました。ここ群馬高専を中心とする舞台上で皆さんは多くの出会いと経験を糧に成長し、今、新たなステージへと旅立って行きます。

在学中の出来事として、やはり外すことができないのは新型コロナウイルス感染症への対応でしょう。感染拡大防止のため、これまで経験したことがないレベルで行動制限が行われたことにより、人々の生活は一変しました。皆さんも、登校できなくなり、授業がリモートに変わり、学校行事等が中止になるなど、学校生活のあり方が大きく変わるという経験をされました。

新型コロナウイルス感染症の流行がもたらしたものについて総括するのはまだ早いかもかもしれませんが、科学技術という視点から、すこし振り返ってみましょう。

まず、先ほども触れた、リモート授業等に使われる Web 会議は、コロナ禍以前にはあまり馴染みがありませんでしたが、今や日常的に利用され、我々の生活に欠かせないものとなっています。お店に行けば、人との接触を避けるためのキャッシュレス決済やセルフレジなども一気に普及しました。これまで対面が前提とされていたような行政手続きや医療ですら、オンライン化がかなり進んでいます。

さらに、これらを支える AI 化や IoT 化も加速し、通信・半導体をはじめとしたインフラやこれらを創り出す製造技術、要素技術も格段に進歩しました。

このような状況は、第 6 期の「科学技術・イノベーション基本計画」において、「結果として、「ニューノーマル」とも呼ばれる新しい生活様式は…Society5.0 の

コンセプトを部分的にはあるが体現することとなった」と評価されています。

新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの生活を一変し、半ば強制的に非日常をもたらしましたが、他方で、そのような困難な状況を科学技術の力によって克服してまいりました。さらには、こうした取組によって創り出された技術やツール、システムなどが次のスタンダード、ベーシックなものとなる一方、困難な状況を克服する過程で生じた新たな課題に対応するための新しい技術等の開発や研究も既に進められています。

こうした多くの研究者・技術者のたゆまぬ努力があるからこそ、課題を前に歩みを止めることなく、次なる段階へと進歩し続けて行くことができるのです。

様々な社会的課題や要請は、その解決と克服を社会全体に求めてまいります。皆さんの前にも乗り越えなければならない課題や要請が立ちはだかることもあるでしょう。

しかし、今や皆さんは、群馬高専の卒業認定・学位授与の方針であるディプロマポリシーに定められた「専門分野を広い視野で捉えることができ、高度な技術的課題に取り組むことができる基礎能力を有する技術者」です。そして目の前の課題を一つひとつ乗り越えてきたという経験に裏打ちされた「努力する力」も身につけています。ぜひ、明日からの新たなステージにおいても、困難な課題を克服し、新たな時代を、未来を創り上げていく技術者として活躍し続けてほしいと心から願います。

さて、入学以来今日までお子さんを支え励ましてこられた保護者の皆様、ご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。

また、ご多忙の中、この晴れの式典にご臨席賜りました群嶺テクノ懇話会会長の鈴木様をはじめ、ご来賓の皆様に、厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様、ご来賓の皆様方よりいただきました、学生・学校への多大なるご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

さあ、卒業生・修了生の皆さん、新たなステージへの旅立ちの時です。皆さんのさらなる活躍を祈念して、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

卒業、修了、おめでとうございます。

令和5年3月17日

群馬工業高等専門学校 校長
三 谷 卓 也